

「化学—基本の考え方を学ぶ（上）」第1版第5刷 正誤表

ページ	行	誤	正
前見返し 左	周期表	113 115 (117) 118	113 Nh ニホニウム (278) 115 Mc モスコビウム (289) 117 Ts テネシン (293) 118 Og オガネソン (294)
前見返し 左	周期表注	第 113 から…合成されていない.	削除
前見返し 右	原子量表 追加		ニホニウム nihonium Nh 113 (278) モスコビウム moscovium Mc 115 (289) テネシン tennessine Ts 117 (293) オガネソン oganesson Og 118 (294)
34	図 2.9	周期表の 113~118	113 Nh 114 Fl 115 Mc 116 Lv 117 Ts 118 Og
34	図 2.9 キャプション 5~6 行目	原子番号 113…まだ合成されてい ない.	削除
51	基本の考え方 6 行目	モル質量は正確に $12 \text{ g mol}^{-1}$ であ り,	モル質量は $12 \text{ g mol}^{-1}$ であり,
51	基本の考え方 7 行目	$6.022 \times 10^{23} \text{ mol}^{-1}$	$6.022 \times 10^{23}$ 個

53	3・2 アボガドロ定数とモル質量 欄外追加		2019年5月20日から国際単位系 (SI) の定義が変更されました。本書は第6刷からこれに対応し、モルの定義に関する記述を原著と変更しています。
54	3行～7行目	正確に 12g …用いられている。	アボガドロ定数の数値に等しい個数の構成粒子（原子、分子、あるいは他の粒子）を含む物質の量と定義される。これは炭素-12の 12 g（あるいは 0.012 kg）に概略等しい。アボガドロ定数( $N_A$ )はイタリアの科学者アボガドロの名に因み、正確につきの値に定義されている。
54	8行目 $N_A$ の式	$N_A=6.0221415\times 10^{23}\text{ mol}^{-1}$	$N_A=6.02214076\times 10^{23}\text{ mol}^{-1}$
54	9行目	アボガドロ定数の概数として $6.022\times 10^{23}\text{ mol}^{-1}$ を用いる	アボガドロ定数としてその数値部分の概数として $6.022\times 10^{23}$ を用いる
54	欄外注追加		2019年5月20日から 1 mol の定義が変更になり、炭素-12の質量 $12\text{g/mol}$ は定義値ではなく、 $4.5\times 10^{-10}$ の不確かさをもつ変数となった。しかし他の元素との比は変わらないため amu の値に変更はない。
54	欄外注追加		アボガドロ定数 (Avogadro's constant) は単位 $\text{mol}^{-1}$ をもつ物理量であり、その数値部分をアボガドロ数 (Avogadro's number) として区別することもある。本書では、以下、特に断らない限り、アボガドロ定数の表現のままで、その数値部分の概数 $6.022\times 10^{23}$ (個) を指しているのので注意していただきたい。

54	下から 10 行目	正確に 12g の質量	12g の質量
54	下から 6 行目	であることに注意してほしい.	と考えてよい.
54	下から 2 行目	アボガドロ定数がわかれば	アボガドロ定数から
79	事項と考え方のまとめ	12g の炭素-12 に…の値をとる.	1 mol の物質にはアボガドロ定数 ( $N_A$ )個( $6.022 \times 10^{23}$ )の粒子を含む.
206	図 8.1	周期表の 113~118	113 Nh 114 Fl 115 Mc 116 Lv 117 Ts $7s^27p^5$ 118 Og
208	図 8.2	周期表の 113~118	113 Nh 114 Fl 115 Mc 116 Lv 117 Ts 118 Og

(2020 年 8 月 27 日 作成)